

情報技術科 目指すはコンピュータエンジニア

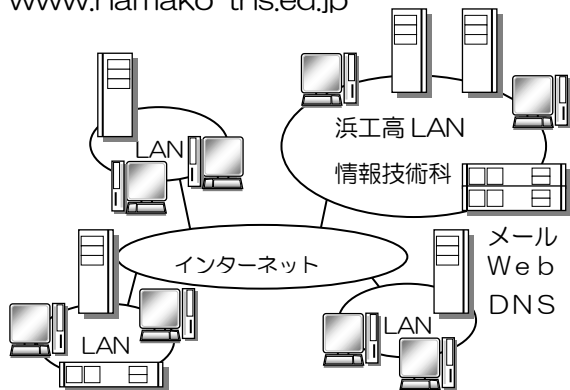
1 情報技術科の目指すもの

現代社会はコンピュータとコンピュータネットワークなしでは成り立ちません。パソコンやスマートフォンのような情報・通信機器はもちろん、ゲーム機や会社・工場・施設のコンピュータ、街に設置された様々なセンサー類もネットワークでつながっていて、サービスを提供したり、仕事の効率化・地域の安全に役立っています。人工知能の発達で、さらに利用価値は高まっていくでしょう。

情報技術科では、ますます発展する情報社会で活躍できる人材育成を目標に、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークの仕組みから、これらを設計・構築・活用するための基礎技術を学習します。

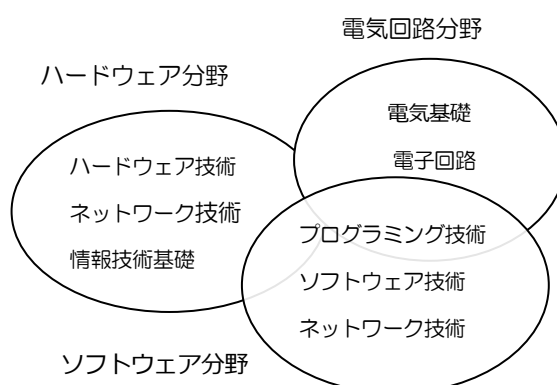
技術は人や社会に役立てるためのものです。情報技術を通じて社会に貢献する…幸せなことだと思いませんか？

www.hamako-ths.ed.jp



2 情報技術科で学ぶ内容

情報技術はいくつもの技術が関わり合うシステムなので、明確な区切りはありませんが、大きく3つの分野に分かれます。



(1) ソフトウェア分野

製品やシステム開発において、ソフトウェアの占める重要性が高まっています。情報技術科ではエンジニア要求されるプログラミング技術を、恵まれた学習環境のもと、基礎から学習します。

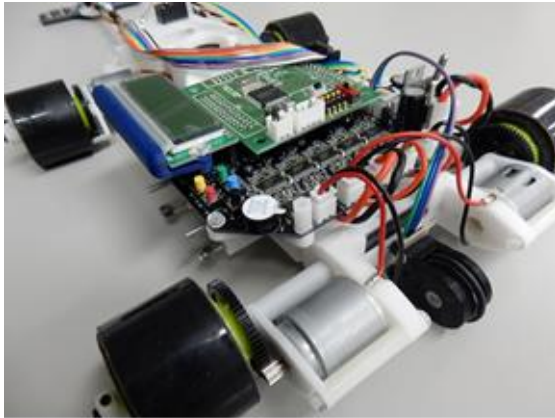
(2) ハードウェア分野

コンピュータの装置そのものや、プログラムで動く装置を総称してハードウェアといいます。プログラムでロボットを動かすには、その仕組みを知っていなければなりませんよね。実際に回路を組立てながら、さまざまな部品の特性や実装方法を学習します。

(3) 電気回路分野

コンピュータは電気回路で作られているので、電気の知識も必要です。数式を使うので、基礎数学を理解することも大切です。





3 情報技術科のこだわり

情報技術が広く普及しているため、卒業生はIT分野のほか、制御技術・生産技術・運輸・事務・サービスなど、幅広い分野で活躍しています。また、さらに高度な学習機会を求めて大学進学を希望する者が多いのも情報技術科の特徴で、就職・進学のどちらにも対応しているのも強みです。

このように情報技術科では、皆さんがあらゆる分野で活躍できる可能性を秘めていると考え、基礎基本と実践力の定着、社会観の育成を心掛けた授業を展開しています。



ソフトウェア開発実習

4 情報技術科で身につくもの

情報技術科で学習することで

- ソフトウェアとハードウェアの実装技術
- テクノロジーの理解
- 問題発見能力 • 課題解決能力
- 論理的思考力 • 創造力

- コミュニケーション能力
- 新しいビジネスへの対応力
- 社会観 • 勤労観

など、社会で役立つ資質を身につけることができます。



コンテストへの参加（情報処理部・情報技術科）

先輩のメッセージ 1

アイシン・エイ・ダブリュという世界 NO.1 のカーナビメーカーに就職しました。社内教育課程で評価され、技能オリンピックの代表選手に選ばれたのも、情報技術科で学んだことが活かされたことと、陸上部で精神力を培うことができたからだと思っています。

同期の社員と比較しても、プログラミングを基礎から系統立てて学んできた者はおらず、改めて情報技術科のすごさを実感しました。

小枝彩香（H28 年度卒 丸塚中学校出身）

先輩のメッセージ 2

ソフトウェアエンジニアを目指していて、いち早くコンピュータスキルを身につけようと思い情報技術科を志望しました。実践力重視の学習スタイルは自分にあっていて、夢の実現に一步近づけたと思っています。

入学時の意志通り大学進学を果たしましたが、早くから適性を磨くことができたことは、大きな自信になっています。皆さんも知的好奇心を満たす喜びを感じてください。

大畑誠弥（H29 年度卒 可美中学校出身）